

磐田市

桶ヶ谷沼 ビジターセンター 第260号 2026年1月号 だより



開館時間:午前9時～午後5時（月曜日 休館）

住所:〒438-0016 磐田市岩井 315 番地

電話:0538-39-3022 FAX:0538-39-3023



あけましておめでとうございます

2026年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします

今年は午年（うまどし）です。午は馬（ウマ）を表します。馬は古来より、移動手段や農業に必要不可欠な動物でした。馬の力強さと馬と人との協力によってもたらされる恩恵から、「馬」は「健康」や「豊作」などの象徴となっています。

午年の「午」という字は、餅をつく道具である「杵」という字の“つくり”に当たります。餅づくりでは2人の人が杵で交互に餅をつくということから、「午」には「切り替え」や「交互」という意味があります。そこから、一日を前半と後半に分ける言葉に使われ「午前」「午後」という言葉ができたようです。

午年生まれの人は、決断力と実行力があり、明るく活発な性格の方が多いといわれています。また、責任感と独立心が強く、華やかさと明るさも備える人気者の方が多いともいわれています。ただし、責任感と実行力があるがゆえに、やりたいことに夢中になっていたら、いつの間にか一人になってしまうおそれもあるようです。

午年のいわれの通り、この年が皆さんや社会にとって運気が上がる年となることをお祈りいたします。

桶ヶ谷沼を考える会では、令和2年のベッコウトンボ調査会での確認頭数23頭という過去最少の結果を受け、その後、様々な対策を進めてきました。その成果が出て、令和3年:67頭 令和4年:380頭と数を増やすことができました。

しかし、その後は、令和5年:237頭 令和6年:191頭 令和7年:156頭と減少傾向にあります。これは、近年の夏の猛暑が主な原因だと考えます。特に、令和7年夏の猛暑は異常で、沼の水位が極端に低下したり、増殖用コンテナ内の水温が上がり過ぎたり、渴水したりし、ヤゴが危険な状態に陥りました。そこで、地下水をくみ上げて沼に入れたり、ポンプでコンテナに給水したりするなどの対策をしました。ベッコウトンボの羽化が始まるのは3月中下旬です。対策の成果が無事出してくれることを祈りたいです。



ベッコウトンボ♂です。
皆さんの健康をお祈りします



ベッコウトンボ♀です。
豊作になりますように。

R7のセンター行事を振り返って

令和7年、桶ヶ谷沼ビジターセンターでは次の10回の「ビジターセンター行事」を開催しました。毎回20人程度の参加があり、桶ヶ谷沼の自然を満喫しながら学んでいただくことができました。

それぞれの行事のようすを写真で振り返ってみました。

令和8年も10回程度の講座の開催を予定しています。皆さんのご参加をお待ちしています。

募集は、各講座のおおよそ1~2か月前に、「広報いわた」や「ビジターセンターだより」、ビジターセンターのホームページでお知らせします。

なお、令和8年の第1回センター行事「ベッコウトンボ勉強会」は4月4日（土）9:30~開催予定です。



R7.4.12

「ベッコウトンボ勉強会」
羽化しているベッコウトンボを見ました。



R7.5.31



R7.6.22



R7.7.6

「桶ヶ谷沼を一周しよう」
桶ヶ谷沼の豊かな自然について学びました。

「カイコについて」
カイコの繭を触ってみると、意外と堅かったです。

「初夏のトンボ観察会」
チョウトンボを捕まえました。きれいな翅でした。



R7.7.26



R7.7.30



R7.8.2

「夜の昆虫観察」
夜の桶ヶ谷沼で昆虫をいっぱい見ました。

「こんちゅうクンの昆虫教室」
こんちゅうクンから昆虫のことを教えてもらいました。

「ライトラップ」
ライトに集まってくる昆虫を観察しました。



R7.9.7



R7.10.12



R7.12.7

「水生生物観察会」
桶ヶ谷川で水生生物の観察をしました。

「秋の昆虫観察」
カマキリやバッタなどの秋の昆虫を観察しました。

「ハチの巣について」
スズメバチの巣は大きいけど、意外と軽かったです。